

## 第2章 エコドライブ実施時に発生する課題と解決事例

### 1. はじめに

エコドライブはマニュアルを見ればすぐに実施できるものではなく、実施するにあたって様々な課題が生まれるものです。第2章では、CO<sub>2</sub>削減推進委員会メンバーにおいて、エコドライブ活動実施時に発生する課題とその解決事例をご紹介します。

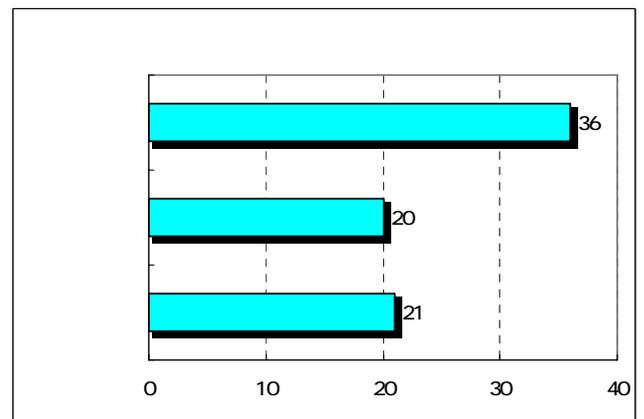
### 2. 第2章における事例分類

今回収集した事例は以下のとおりです。

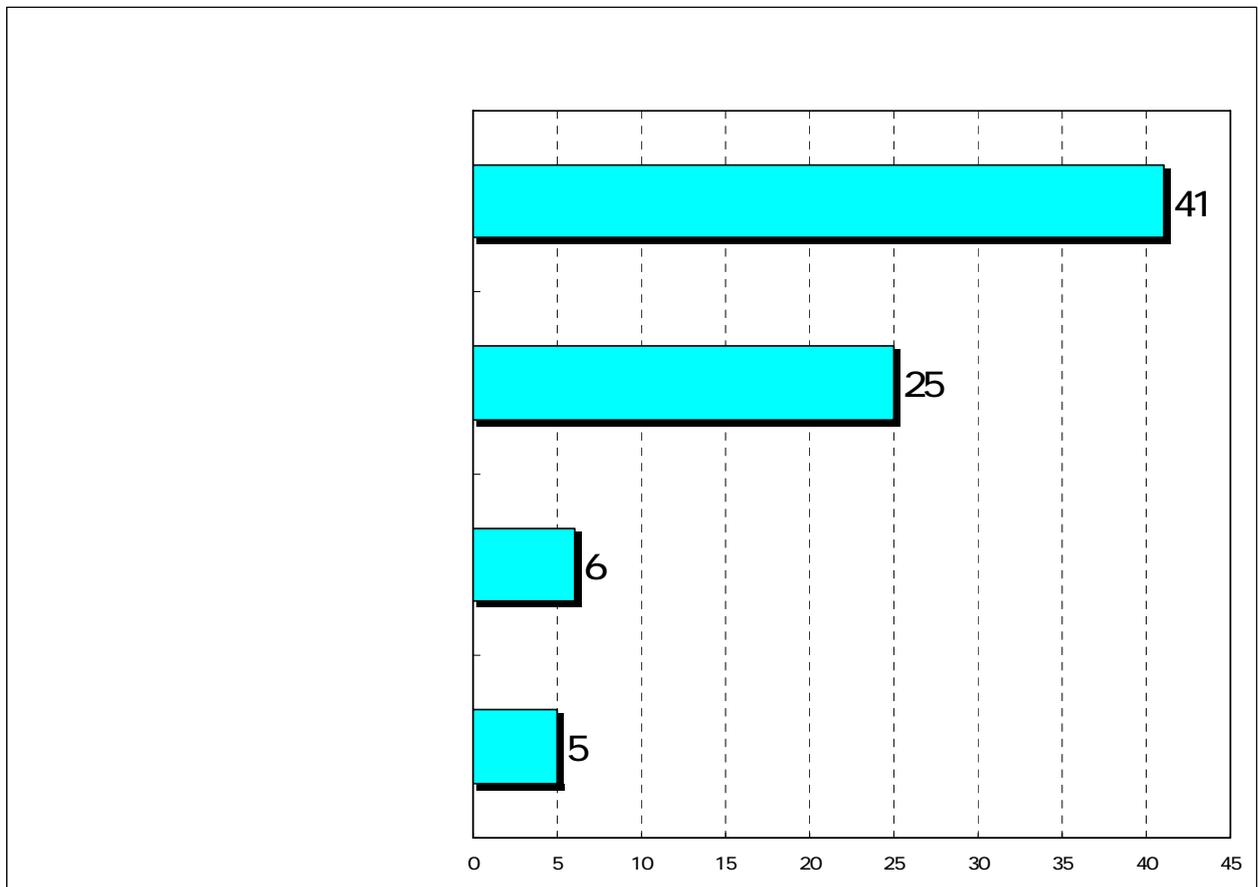
図表2-1 回答概要

	9	5	8	22
	21	20	36	77

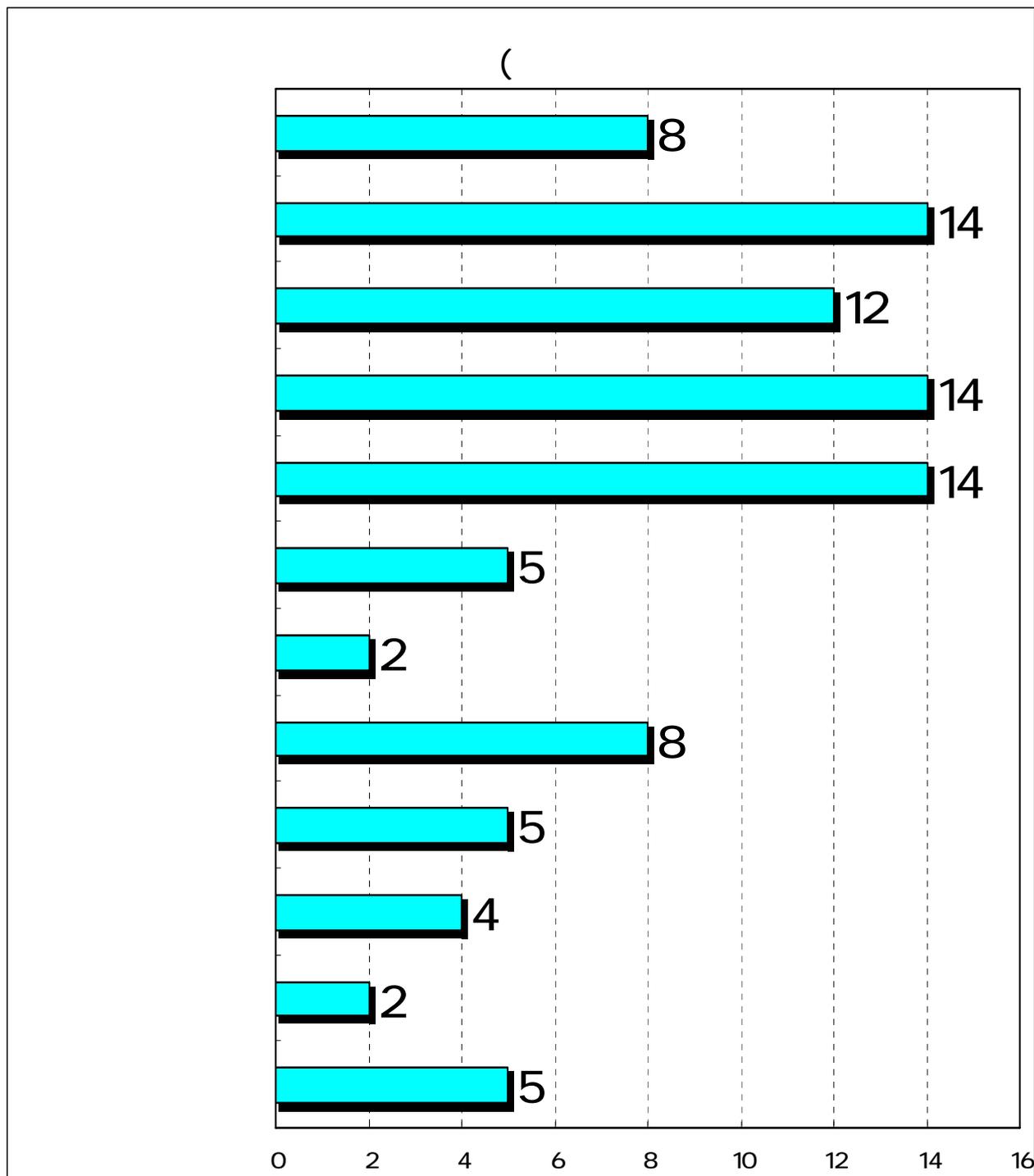
図表2-2 収集事例の回答分類別内訳



図表2-3 事例の分類（大分類）



図表 2-4 事例の分類 (小分類)



### 3. 課題と解決事例

本項では、2項で示した分類ごとに整理を行っております。なお、各項目の後ろに記載されている事例は、4項（P 42～）で紹介しております。

#### 1) 自社におけるエコドライブ活動実施時の課題と解決事例

本項では、自社において、エコドライブ活動実施時の課題と解決事例をみていきます。  
主なポイントとして、以下の4つに整理できます。

##### <4つの視点>

- ・意識づけ、意識向上
- ・エコドライブ活動実践時のポイント
- ・継続的活動（改善）に向けた工夫
- ・EMS機器の活用

#### (1) 意識づけ、意識向上

「エコドライブ＝EMS機器の導入」と捉える見方があります。たしかに、EMS機器は重要な要素の1つではありますが、エコドライブを実際に行うドライバー、そのドライバーを指導するの人も人であり、なぜエコドライブを実施する必要があるのかといった意識づけをしていくことが重要となります。

#### i) なぜエコドライブを実施するのかを理解させるためのポイント（活動開始前、及び開始直後）

- ◆ 外部講師の活用 ☞ （事例1-1）
- ◆ リーダー的存在のドライバーへの指導 ☞ （事例1-2）
- ◆ 映画等による環境問題の啓発 ☞ （事例1-3）

#### ii) エコドライブ活動を進めながら、意識を高める工夫

- ◆ 支店ごとのチームミーティング ☞ （事例1-4）
- ◆ 安全運転中央研修所の研修の活用 ☞ （事例1-5）
- ◆ ドライバー間の意識の格差を埋める ☞ （事例1-6）
- ◆ 日常業務中でのエコドライブ徹底 ☞ （事例1-7）

#### iii) 全員参加による活動推進 ☞ （事例1-8）

## (2) エコドライブ活動実践時のポイント

ここでは、エコドライブ活動を実践する際のポイントを整理します。1つは、ドライバーに係る事項です。具体的には、他のトラックからあおりを受けたり、アイドリングストップを指示されてどこまで実施すればいいかといったことがあげられます。もう1つは、ドライバーを指導する運行管理者等に係る部分です。

### i) ドライバーの実際の運転時に係る事項

(i) 他のトラックからあおりを受ける

- ◆ ステッカーの活用 ☞ (事例2-1、2-2)
- ◆ 安全運転最優先の姿勢 ☞ (事例2-2、2-3)
- ◆ 実態にあったエンジン回転数の変更 ☞ (事例2-4)

(ii) アイドリングストップの効果的实施方法

- ◆ 体調優先 ☞ (事例2-5)
- ◆ EMS機器の活用による可視化 ☞ (事例1-3、2-6)

### ii) 管理者等に係る事項

(i) 運行管理業務多忙のため、評価や小集団活動等の運営、立案の余裕がない

- ◆ 運行管理業務の分散化 ☞ (事例2-7)

(ii) 営業所職員の転勤等による活動の継続維持

- ◆ 組織体制の構築 ☞ (事例2-8)

### iii) 全般的事項

- ◆ 取組の均一化 ☞ (事例2-9)

### iv) その他(エコドライブ活動の際の工夫)

- ◆ 速度関係 ☞ (事例2-10、2-11)
- ◆ 無駄なモノを積み込まない ☞ (事例2-12、2-13)

### (3) 継続的活動（改善）に向けたポイント

エコドライブも一時的な活動ではなく、継続的に活動を進めていくことが必要です。しかしながら、活動当初には出ていた改善効果が出なくなることがあります。ここでは、その際の対処法及びさらに効果を出すためのポイントに加え、グリーン経営認証の活用があげられます。

#### i) 改善効果が出なくなった

- ◆ 今までのやり方の確認（運転方法、教育） ☞ （事例3-1、3-2、1-7）
  
- ◆ 評価・表彰制度の確立 ☞ （事例3-3、3-4、3-5、3-6）
  
- ◆ 取り組みのアピール ☞ （事例3-7）
  
- ◆ 継続性（＝安全）の評価 ☞ （事例3-8）

#### ii) グリーン経営認証登録による体制構築

- ◆ グリーン経営認証の活用 ☞ （事例3-9、3-10、3-11）

#### (4) EMS機器等の活用

エコドライブの実践時や活動の効果を評価する際に、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダー等、EMS機器を活用しているケースが多いです。ここでは、効果的な活用のポイントについて整理します。

##### i) 効果的な活用

- ◆ クセの把握 ☞ (事例1-3、3-1)
  
- ◆ アイドリング時間の評価 ☞ (事例4-1)
  
- ◆ 急加減速の原因追求 ☞ (事例3-6)
  
- ◆ 評価による効果 ☞ (事例1-6、3-5)
  
- ◆ 導入時の工夫 ☞ (事例4-2、4-3)

##### ii) ドライバーからの不満への対応

- ◆ 評価に対する不満への対処法 ☞ (事例4-4、4-5、4-6)
  
- ◆ 音量への不満への対処法 ☞ (事例4-7)

##### iii) その他

- ◆ 低公害車の燃費の改善 ☞ (事例4-8、4-9)

## 2) 協力会社に対するエコドライブ活動の支援時の課題と解決事例

わが国の輸送の特徴として、元請事業者から委託を受けた「協力会社」が実運送を担っているケースが多いのが現状です。ここでは、協力会社へのエコドライブ活動の支援のポイントをみていきます。主なポイントとして、以下の5つに整理できます。

### <5つの視点>

- ・ 情報収集及び伝達
- ・ PLANの策定依頼
- ・ エコドライブ指導
- ・ EMS機器等の支援
- ・ グリーン経営認証登録依頼、推奨等

#### (1) 情報収集及び伝達

- ◆ 会合等の設置による情報伝達及び情報共有
  - ☞ (事例5-1、5-2、5-3、5-4、5-5、5-6、5-7、5-8、5-9、5-10、5-11)
- ◆ エコドライブ活動や各種認証の取得状況等の確認
  - ☞ (事例5-6、5-12、5-13、5-14)

#### (2) PLANの策定依頼

- ◆ エコドライブ活動実施計画立案依頼とそのフォロー
  - ☞ (事例5-1、5-7、5-8、5-9、6-1)

#### (3) エコドライブ指導

- ◆ エコドライブ指導 ☞ (事例5-10、7-1)

#### (4) EMS機器等の支援

- ◆ EMS機器の設置支援等
  - ☞ (事例5-6、6-1、8-1、8-2、8-3、8-4、8-5)
- ◆ エコタイヤの装着支援 ☞ (事例5-6、8-4、8-5、8-6)

#### (5) グリーン経営認証登録依頼、推奨

- ◆ グリーン経営認証登録依頼、推奨 ☞ (事例5-11、5-14、9-1、9-2、9-3)

### 3) 発・着荷主の役割

前章までは、自社、協力会社へのエコドライブ活動に係る内容を見てきましたが、ここでは、発・着荷主として輸送事業者のアイドリングストップ等を容易にする事例についてご紹介いたします。

#### (1) アイドリングストップへの支援

- ◆ 待合所等の整備 ☞ (事例10-1、10-2、10-3、10-4)

#### (2) 発・着荷主への協力依頼

- ◆ 発・着荷主への協力依頼 ☞ (事例10-5、10-6)

### 4) その他

前述の1) から3) に該当しない項目です。

- ◆ 指導内容が明確にできない ☞ (事例11-1)
- ◆ 燃費向上の改善率が決められている ☞ (事例11-2)
- ◆ アイドリングストップに関連する事項 ☞ (事例11-3、11-4、11-5)

















































































